【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2006-25956(P2006-25956A)
【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-005
【出願番号】特願2004-206815(P2004-206815)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｇ　9/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｇ　9/10　Ｒ
Ａ４７Ｇ　9/10　Ｗ

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月17日(2006.2.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
布製の枕カバーに平面状に並べた多数の袋を設け、
これらの袋の中に蓄冷剤入りの冷却パックをそれぞれ収容し、
しかして前記枕カバーを枕に装着して形成することを特徴とする冷却枕。
【請求項２】
前記袋が枕カバーの上面にポケット状に取り付けたものであることを特徴とする請求項１記載の冷却枕。
【請求項３】
前記袋が枕カバーの上面を２重構造にした間の空間を桝目状に分割したものであることを特徴とする請求項１記載の冷却枕。
【請求項４】
前記枕が低反発枕であることを特徴とする請求項１記載の冷却枕。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
暑くて眠れない夜などに、蓄冷剤入りの冷却パックを冷蔵庫で凍らせて枕にのせて寝ると、頭が冷えて一晩中自然な冷たさと清涼感を感じて熟睡できるようになる。
一方、クーラーをつけたまま眠ると手足が冷えるので、その刺激が脳を刺激して、眠りを妨げるようになる。また、翌朝目覚めたときに身体がだるくなったり、肩こりや頭痛がしたりするなどの弊害がある。
昔から「頭寒足熱」が安眠の条件といわれており、冷却パックで頭を涼しく保つ冷却枕は手軽な快眠手段として人気がある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そのため本発明は、布製の枕カバーに平面状に並べた多数の袋を設け、これらの袋の中に蓄冷剤入りの冷却パックをそれぞれ収容し、前記枕カバーを枕に装着して冷却枕を形成することを最も主要な特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
冷却パック４は、図４に示すように、２つ折りにした樹脂フィルム７の３方の周辺部８を熱溶着してシールした袋の中に蓄冷剤９を入れたもので、凍結時は固化して固くなる。
冷却パック４を袋３に収容する際は、タオルなどに巻いて収容してもよい。
これにより、冷却パック４が頭部に当たる感触と冷えすぎを和らげることができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
１　枕カバー
２　枕
３　袋
４　冷却パック
５　縫い目
６　切れ目
７　樹脂フィルム
８　周辺部
９　蓄冷剤